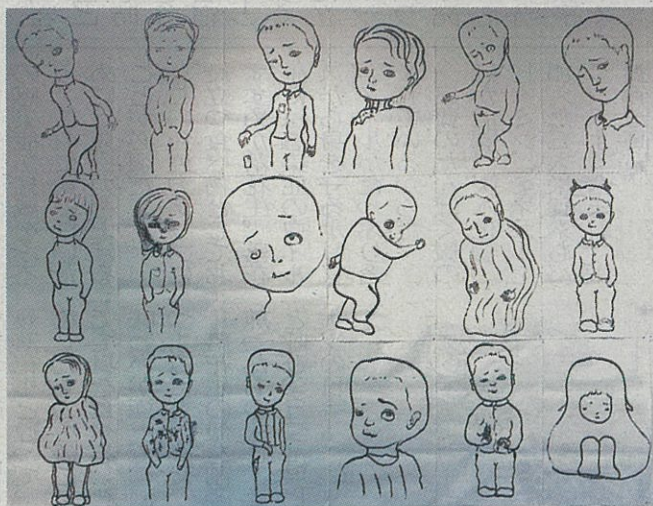


〈名画の扉〉

大川美術館企画展から



「ドローイング」

2019、20年、和紙に墨

丸尾康弘（1956年）

ポケットに手を突っ込んだり、手で作った角が頭に生えていたおへそを出している。いろいろなポーズ、表情で生き生きと存在していることもち。壁一面に展示されたドローイング作品は、和紙に墨で描かれています。

丸尾康弘さんの生まれ故郷である熊本県山鹿市の隣、福岡県八女市で生産された和紙に、書道の先生や書家

丸尾さんのお母さまの形見の筆で描かれた作品です。

このドローイングは、今年の2月に開催

なお、こちらのドローイング作品は展覧会期間中に順次増えていく予定です。展示室の変化もあわせてお楽しみください。

(池田)